

## 出展要項

### 1 出展小間料金について

#### (1) 出展小間料金

##### ■ 通常プラン

- ① 会員 407,000円(税込)/1小間(間口3m×奥行3m)
- ② 一般 473,000円(税込)/1小間(間口3m×奥行3m)

※①は(一社)日本施設園芸協会会員をさします。  
 ※野菜流通カット協議会、青果物選果予冷施設協議会の会員が、「流通・加工・包装」分野へ出展する場合は、①の会員料金が適用されます。

##### ■ スタートアップ企業プラン(先着順)

236,500円(税込)/1小間(間口3m×奥行1.5m)

※スタートアップ企業プランは、「会社設立10年未満の会社(申込時を起算)」が対象となります。  
 ※法人登記簿のデータご提出をお願いします。

#### (2) 角小間指定料金 ※通常プランのみ

出展申し込み時に、有料で角小間を指定いただけます。(先着順)

110,000円(税込)/1社

※小間数に関わらず、上記の料金です。  
 ※4小間以上お申し込みの場合は、原則、角小間になるため指定不要です。  
 ※指定のない小間に関しては、小間数、申込順、来演の有無等を考慮して配置します。

### 2 出展申込の解約(キャンセル)

いったん申し込んだ出展の取り消し・変更は原則としてできません。万一、申込者により取り消し、または変更があった場合は、下記のキャンセル料が発生します。

書面による解約通知を受領した日	キャンセル料
2024年3月29日(金)以前	出展小間料金(税込総額)の50%
2024年3月30日(土)以降	出展小間料金(税込総額)の100%

## 申込方法について

#### (1) 申込方法

出展申込書(別添)に必要事項をご記入の上、下記事務局にご提出ください。

##### GPEC事務局

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2  
 大同生命霞が関ビル4階 アテックス(株)  
 Tel:03-3503-7703 Fax:03-3503-7620

#### (2) 申込締切

**申込締切 2024年2月29日(木)** 但し、予定小間数に達し次第締切ります

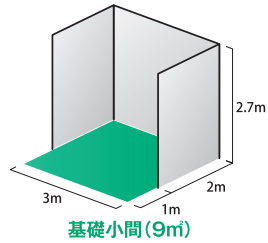
#### (3) 申込の保留・取消

出展内容が本展示会の趣旨にそぐわないと判断した場合、事務局はその受付を保留または拒否することがあります。

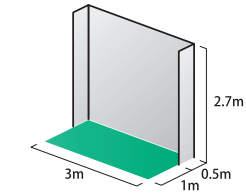
### 3 小間規格について

#### (1) 基礎小間

- 基礎小間には、隣接する小間がある場合、境界を仕切るバックパネル、サイドパネルを事務局が設置します。
- 独立小間には、パネルは設置いたしません。
- 角小間など隣接する小間がない場合、サイドパネルは設置いたしません。
- 社名板、カーペット、テーブルやイスなどの備品は含まれておりません。



基礎小間(9m)

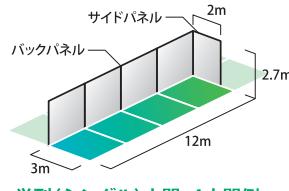


スタートアップ小間(4.5m)

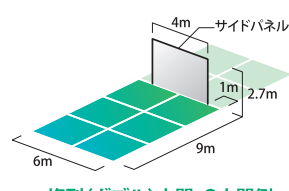
#### (2) 小間規格

小間(9m)は以下の3種類があります。

- ・単列小間
- ・複列小間(4小間以上)
- ・独立小間(12小間以上)



単列(シングル)小間・4小間例



複列(ダブル)小間・6小間例

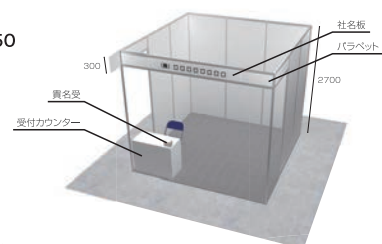
## 会期までのスケジュールについて

2024年2月29日(木)	出展申し込み締切
3月29日(金)	出展料金支払期限
4月	出展者説明会(予定)
7月22日(月)・23日(火)	搬入・装飾
7月24日(水)~26日(金)	施設園芸・植物工場展 2024(GPEC)会期

## パッケージブース(別途有料)

#### ベーシックプラン(1小間) レンタル価格:110,000円(税込)

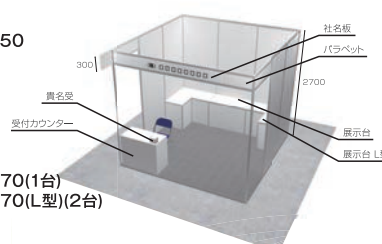
- ①受付カウンター(×1台)  
寸法:W900×D450×H750
- ②貴名受(×1個)
- ③パンチカーペット(9m)
- ④バラベット(白)
- ⑤社名板(×1枚)(白)  
寸法:W1800×H300
- ⑥ハイブイス(×1脚)



※上記パッケージプランには電気照明備品、電気設備工事及び電気使用料は含まれておりません。  
 電気照明備品、電気供給が必要な場合は別途申込みが必要です。(詳細は別途ご案内します)

#### スタンダードプラン(1小間) レンタル価格:170,500円(税込)

- ①受付カウンター(×1台)  
寸法:W900×D450×H750
- ②貴名受(×1個)
- ③パンチカーペット(9m)
- ④バラベット(白)
- ⑤社名板(×1枚)(白)  
寸法:W1800×H300
- ⑥展示台(×3台)  
寸法:W990×D495×H770(1台)  
寸法:W990×D495×H770(L型)(2台)
- ⑦ハイブイス(×1脚)



※上記パッケージプランには電気照明備品、電気設備工事及び電気使用料は含まれておりません。  
 電気照明備品、電気供給が必要な場合は別途申込みが必要です。(詳細は別途ご案内します)

## 出展のご案内

# 稼げる施設園芸、農業が変わる、日本が変わる

～ 本格的なスマート化時代の扉を拓く ～



# GPEC

Greenhouse Horticulture & Plant Factory Exhibition / Conference  
 施設園芸・植物工場展

2024

7.24 水 WED 26 金 FRI

[www.gpec.jp](http://www.gpec.jp)

主催 **JGHA** 一般社団法人 日本施設園芸協会

後援/農林水産省、経済産業省、(一社)全国農業協同組合中央会(JA全中)、  
 全国農業協同組合連合会(JA全農)、農林中央金庫、(一社)全国農業会議所、  
 (公社)全国農業共済協会、(株)日本政策金融公庫 (順不同・申請予定)  
 共催/アテックス(株)

お問い合わせ

#### GPEC事務局

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル4階 アテックス(株)内

TEL: 03-3503-7703 FAX: 03-3503-7620 E-mail: ofc@gpec.jp

[www.gpec.jp](http://www.gpec.jp)

東京ビッグサイト 南1・2ホール 10:00 > 17:00

## 主催者あいさつ

施設園芸・植物工場展2024(GPEC)がよいよ始動いたします。本展は施設園芸・植物工場に特化したわが国唯一の専門展示会として、今回で第8回目を迎えます。2022のGPECにおいては、4年ぶりに東京ビッグサイトに戻っての開催となり、コロナ禍の中で、約3万人の方のご来場がありました。

現在、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが、5月に5類感染症になり、海外からの旅行者が今年上半年で1000万人を超えるなど我が国経済社会もようやく前向きに動き出しつつあります。

しかしながら、ウクライナ情勢は依然不透明の状況にあり、原油や電力等のエネルギー価格や原材料の高騰をはじめ、気候変動の影響による災害の拡大などが、我々施設園芸関係企業はもとより、農業・食品産業に大きな影響を及ぼしています。

一方、農林水産省等においては、今後の農業の持続可能な成長に向けて、スマート農業、農作物・食品の輸出促進、みどりの食料システム戦略といった施策を鋭意進められるとともに、昨年9月に設置された基本法検証部会の議論等を踏まえた食料・農業・農村政策審議会の答申として9月に取りまとめられました。令和6年度農林水産関係予算も「食料・農業・農村政策の新たな展開方向」を踏まえ、食料安全保障の強化、環境対応、人口減少への対応を中心に、農業改革に向けた概算要求となっています。

こうした状況の中、発展の著しいロボット、AI、IoT等の新技術を導入したスマート農業の展開は、施設園芸においても、植物生産を最適化する環境制御、養液栽培システムの開発・普及が進むとともに、データ活用の利便性をより高める先進的なシステムや効率的な利用環境の整備等へと一層の発展を遂げています。また、SDGsへの意識の高まりやみどりの食料システム戦略など、生産と環境の調和が大きな方向となる中で、これらに関する技術開発・普及への支援もさらに高まりつつあります。

GPEC2024は、大きな変革の中で「稼げる施設園芸、農業が変わる、日本が変わる～本格的なスマート化時代の扉を拓く～」をテーマに、こうした新技術の導入により、生産性の向上と環境との調和による持続的な施設園芸を考えている皆様に向けて、まさに先進な考え方や技術を学ぶ場として絶好の機会を提供するものです。

また、GPECは、農閑期である7月に開催しております。これは、来場者の主体は「この産業を支える生産者である」ことを肝に銘じ、来場されたすべての方が、必ず何らかのヒントをお持ち帰りいただける展示会となることを願って、主催者展示や多彩なセミナーなどを企画してまいりました。その結果、全国の生産者の皆様はもとより、生産者と企業、企業同士の商談も盛んに行われ、展示に参加された企業の皆様にも非常に高い評価をいただいております。

GPEC2024でも継承され、全国の農業者の皆様に大変期待していただける内容の取り組みになるものと考えています。開催までに複数回発行される「GPEC NEWS」等を通じて、展示会の詳細を紹介し、全国から仲間を誘って来場していただけるように最大限の努力を払う所存であります。

関係企業および機関・団体の皆様におかれましては、ぜひGPEC2024にご出展いただき、皆様の新たな技術、製品を積極的にPRされ、新しい日本農業の明日を導くものとして寄与されることを期待しております。

一般社団法人 日本施設園芸協会 会長 大出 祐造



## GPECの特長

### 1 7月開催で効率的なビジネスマッチングを実現

本展示会は農業のエンドユーザーとなる生産者を主要なターゲット層と捉え、施設園芸の農閑期となる7月に展示会を開催しています。この時期に開催することで、具体的な目的を持つ多くの生産者が集まり、効率的なビジネスマッチングが可能となります。

展示会を通じて、新たな商談や提携、情報交換がスムーズに進行し、生産者を中心とした農業関係来場者と出展企業の双方にとって有益な機会の創出を目指します。



### 2 国内唯一の施設園芸専門展示会

施設園芸と植物工場を専門に扱う国内唯一の展示会で、今回で8回目の開催となります。新製品の開発サイクルに合わせた隔年の開催スケジュールで、常に最新の情報を来場者に提供します。

GPECを通じて、業界の最新トレンドや革新的な技術・プロダクトを紹介することで、絶好のビジネスチャンスとなります。



### 3 来場者ターゲットへの効果的な誘致

業界団体主催ならではの業界有識者や優良生産者等によるセミナーや主催者企画を連日開講。明確な来場者ターゲットに対し、来場誘致を効果的に促します。

また、本展の開催により、業界関係者の専門知識の共有やビジネス展開を拡大し、業界の発展に貢献します。



## 同時開催展

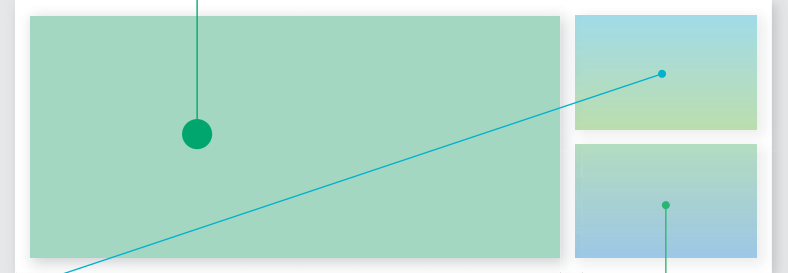


施設本体・資材、付帯設備・機器、生産管理機器・システム、流通・加工・包装、業務効率化提案・機器など、施設園芸・植物工場における資材・技術やサービスが一堂に集まる専門展示会



## 南1・2ホール

東京ビッグサイト  
エントランス



※会場図は今後の状況により変更になる場合があります。



スマート農業技術、施設園芸・果樹用ロボット・ドローン、栽培・育成管理システム、農業参入・営農支援、スタートアップ企業など、施設園芸・植物工場における「スマート化」に係わる製品・技術やサービスが一堂に集まる専門展示会



アクアポニックス(水耕栽培+養殖)システム・陸上養殖関連設備・システム、生産管理機器・資材、種苗・育成・輸送・加工など、アクアポニックスと陸上養殖における「循環型」をテーマとした製品・技術やサービスが一堂に集まる専門展示会

## GPEC2024開催概要

名称	施設園芸・植物工場展 2024(GPEC) Greenhouse Horticulture & Plant Factory Exhibition / Conference
会期	2024年7月24日(水)~26日(金) 10:00~17:00
会場	東京ビッグサイト 南1・2ホール
主催	(一社)日本施設園芸協会
後援	農林水産省、経済産業省、 (一社)全国農業協同組合中央会(JA全中)、 全国農業協同組合連合会(JA全農)、農林中央金庫、 (一社)全国農業会議所、(公社)全国農業共済協会、 (株)日本政策金融公庫(順不同、申請予定)
共催	アテックス(株)
出展者数	国内外200社・団体(目標)
来場者数	35,000名(目標)
入場方法	事前来場登録または招待券持参(無料)

## 実行委員会メンバー

委員長	丸尾 達	公益財団法人 園芸植物育種研究所 理事長・所長
委員	大出 祐造	株式会社誠和。会長
	鈴木 富隆	全国農業協同組合連合会 耕種資材部 次長
	福田 晴久	ネボン株式会社 代表取締役社長
	石黒 信生	イノテオアグリ株式会社 代表取締役社長
	江口 義昌	AGCグリーンテック株式会社 取締役
	小堀 武光	東都興業株式会社 常務取締役 営業本部長
	渋谷 忠宏	全国野菜園芸技術研究会 会長
	鈴木 格方	渡辺パイプ株式会社 グリーン事業部 事業部長
	鈴木 健嗣	株式会社大仙 代表取締役社長
	高山 弘太郎	豊橋技術科学大学 大学院 工学研究科 機械工学系教授
	東出 忠桐	農研機構 野菜・花き研究部門 研究推進部長
	三浦 慎一	トヨタネ株式会社 取締役 執行役員
	吉澤 徹	カネコ種苗株式会社 執行役員 施設部長
	有光 大幸	有光工業株式会社 専務取締役
	五十嵐 武彦	サンキンB&G株式会社 取締役 農芸事業部 事業部長
	岩崎 泰永	明治大学 農学部 教授
	大賀 泰光	タキロンシーアイ株式会社 アグリ事業部 事業部長
	久保田 光昭	アキレス株式会社 農業資材販売部 部長
	近藤 了裕	株式会社サカタのタネ 執行役員 国内営業本部 副本部長
	柴本 勝敏	三菱ケミカルアグリドリーム株式会社 取締役社長
	中野 明正	千葉大学大学院 園芸学研究院 教授
	中村 謙治	エスバックミック株式会社 フードテック事業部 本部長
	古田 成広	フルタ電機株式会社 代表取締役社長
	福嶋 正人	ヤンマーアグリ株式会社 経営企画部 専任部長
	増澤 佳浩	クボタアグリサービス株式会社 農業施設部 部長補佐

(敬称略、順不同、役職は就任当時)



©TOKYO BIG SIGHT Inc.

# 出展対象

## 施設本体・資材



### ハウス・太陽光利用型植物工場 (栽培施設・資材)

ハウス本体、ハウス構成部材・部品、外張・内張フィルム(農ビ、農PO、フッ素フィルム、硬質板 など)、保温・遮光資材、防虫・防風・防獣ネット、防草シート、被覆材構成部材・部品



### 人工光型植物工場 (栽培施設・資材)

植物工場本体、植物工場本体構成部材・部品

## 付帯設備・機器



### 施設園芸用

カーテン装置、自然換気・強制換気装置(天窗、側窓、谷窓、妻窓、換気扇、循環扇など)、局所加温装置、冷・暖房装置、太陽光発電システム、バイオマス技術、SDGs対応、省エネ対策、光合成促進装置(炭酸ガス発生装置など)、灌水・散水装置、防除・土壌消毒装置(動力噴霧機、無人防除機 など)、養液栽培・養液土壌栽培装置、栽培ベッド、果樹棚装置、栽培ベンチ装置(移動ベンチ など)、補光装置(電照装置を含む)、収穫機器・運搬資材、ファインバブル発生装置、ハウス清掃用品・洗浄機、その他付帯設備・機器・装置



### 植物工場用 (太陽光利用型・人工光型)

光環境装置(LED、蛍光/冷陰極/無電極ランプ など)、給排水処理プラント装置、太陽光発電システム、バイオマス技術、SDGs対応、省エネ対策、空調システム、栽培ベッド、栽培ベンチ装置(移動ベンチ など)、収穫機器・運搬資材、その他付帯設備・機器・装置

## 生産管理機器・資材



### 種苗、育苗資材、育苗システム

種子・種苗、接木・育苗関連資材、生育状況観察システム、播種機、鉢 など



### 肥料、農薬、受粉・天敵昆虫、IPM

有機質・無機質肥料、液体肥料、植物活性剤、除草剤、ミツバチ、天敵昆虫・生物、土壌改良剤、土壌診断サービス、殺虫剤、消毒剤、消毒サービス など



### 農業ICT

IoT、AI、クラウドサービス、生産管理システム、栽培管理システム、遠隔監視システム、端末機器、ビッグデータ解析技術 など



### 環境制御装置・技術

光量・温度・湿度・CO<sub>2</sub>・風量センサー、土壌成分計測システム、養液管理システム、その他各種センサー、タイマー、計測・制御システム、自動機器 など

## 流通・加工・包装



### 流通・加工

計量機、梱包機、選果機、選別機、洗浄機、異物検出・除去装置、包装機器・資材、搬送器具、搬送機械、温度管理システム、流通システム、集出荷施設、集出荷機器・資材、予冷施設・機器、貯蔵庫・施設、乾燥機、加工施設、加工機器・資材 など



### 包装・パッケージ

包装機械、食品容器、フィルム袋、ネット、パック、トレー、ラベル・シーラー、ラベル剥離機、包装資材 など

## 業務効率化提案



### 省力化・サポート機器

アシストスーツ、サポートウェア・機器、自動化機器・ロボット(播種機、施肥機、収穫機、箱詰め機) など

## スタートアップ企業特別プラン

NEW



施設園芸・植物工場に関わる革新的な製品・技術・サービスを保有し、新たなビジネス成長を目指している国内の企業・団体・機関

### 条件

※会社設立10年未満の会社(申込時を起算) ※先着20社限定(上限に達し次第受付終了) ※法人登録簿のデータご提出をお願いします。  
※1社につき、1小間のみ申込可能なプランです。

# 来場対象



### 農業生産者・植物工場事業者・農業参入希望者

施設野菜・露地野菜関係者(葉茎菜類・果菜類・根菜類)、果樹関係者、花き関係者 ほか



### 農業団体(JA含む)

経営企画部門、耕種資材部門、生産資材部門、営農部門、園芸部門、設計開発部門、新事業推進部門 ほか



### 国・自治体

農業振興課、農林水産部、農業経営課、農業支援課、農産園芸課、都市整備局、企業振興課 ほか



### 企業

経営者、経営企画・管理部門、新事業開発・推進部門、総務部門、施設部門、品質・生産管理部門、技術部門、物流・流通部門、情報・ネットワークシステム部門、EC事業部門、営業部門 ほか



# 併催行事(前回(2022年)実績)

## 主催者セミナー

みどりの食料システム戦略、自動化技術、環境制御、農業経営などの旬なテーマを取り揃えたセミナーを約20セッション開講し、目的意識の高い来場者の誘致を喚起しました。

### みどりの食料システム戦略の実現に向けて

農林水産省 大臣官房技術総括審議官 川合 豊彦氏

### 大規模施設園芸・植物工場の実態調査結果および世界の植物工場における最新動向

特定非営利活動法人 植物工場研究会 副理事長/企画・国際部長 林 絵理氏

### カーボンゼロに向けた施設園芸/植物工場のエネルギー・品種戦略

(公財)園芸植物育種研究所 理事長 丸尾 達氏



## 主催者企画(日本型大型モデルハウス展示)

※展示協力:イノチオグループ

日本施設園芸協会が推進する「日本型大型(1ha)モデルハウス実証・支援事業」のモデルハウスと、自動収穫ロボットや生育予測システムなど、テーマに沿った最新技術を展示し、来場者からの関心が寄せられました。



### ピーマン自動収穫ロボット

※展示協力:AGRIST(株)

2022年秋から実用化されているピーマンの自動収穫ロボットの実機展示と実演を行いました。

### 生育・収量予測モニタリングシステム

※展示協力:農研機構 農業機械研究部門

AIを活用して収穫果数や収穫作業時間を予測する自動走行式着果モニタリングシステムの実機展示と実演を行いました。

# 広報活動

## 業界紙への掲載

生産者に広く講読されている業界紙誌を中心に、来場誘致広告を掲載。また、業界関連媒体各社にプレスリリース等を送付し、展示会の最新情報を発信します。

### 掲載誌

日本農業新聞、農業共済新聞、農機新聞、農村ニュース、全野研ニュース、日本農林新聞、施設と園芸、現代農業、園芸新聞、農経新報、農業資材通信、空調タイムス、熱産業経済新聞 ほか(順不同・掲載予定)



## WEB・SNS活用

GPECとスマートアグリジャパンの公式サイトは、主に出品者情報やセミナー・主催者企画情報を発信予定。WEB上での事前来場登録を促進し、同時にセミナー聴講登録も行い、閲覧者の来場意欲を高めます。また、幅広い層に情報を提供するため、農業関連のウェブメディアでも開催告知記事やバナー広告、ターゲットに合わせたリスティング広告を展開予定。



## DM発送・メールマガジン

過去の来場者や事前登録者を中心に定期的なメールマガジンを配信し、出品者情報と共にセミナー・併催イベントの情報も発信し、来場を促進します。業界媒体のメールマガジンにも展示会情報を掲載し、また出品者リストやセミナースケジュールなどを含む招待券を制作し、主催者、出品者、後援、協賛団体、関係者を通じ、全国の農業生産者など来場対象の業界関係者に広範囲に配布します。



# 前回 (GPEC2022) 開催結果報告

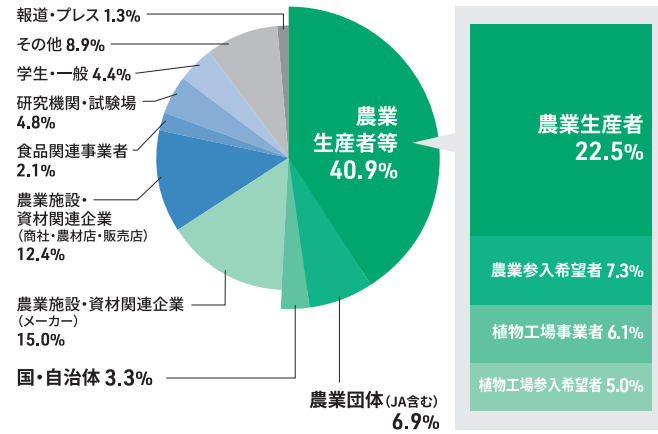
※前回実施結果報告書より一部抜粋

## 来場者数

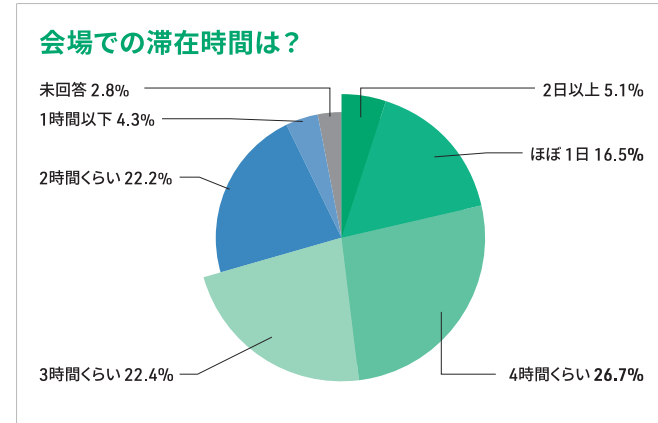
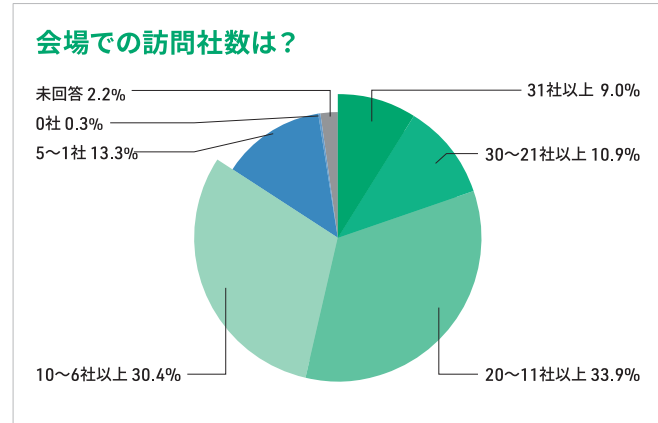
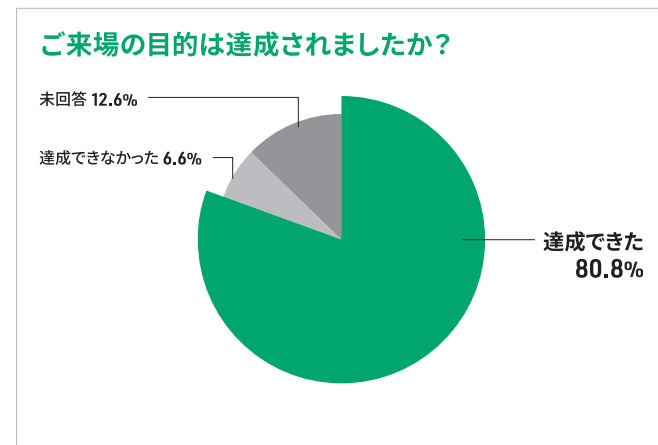
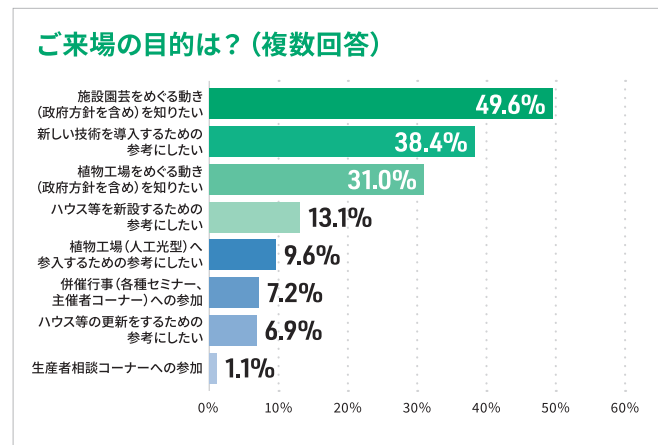
日付	天気	登録者数	来場者数
7月20日(水)	晴れ	3,292	8,312
7月21日(木)	晴れ	3,986	10,662
7月22日(金)	雨のち晴れ	3,735	10,249
合計		11,013	29,223

\*登録者数:氏名・会社名等の来場登録を行った人数。会期中1カウントとし、再入場は含まない。  
\*来場者数:来場した延べ人数(再入場を含む)

## 業種別比率

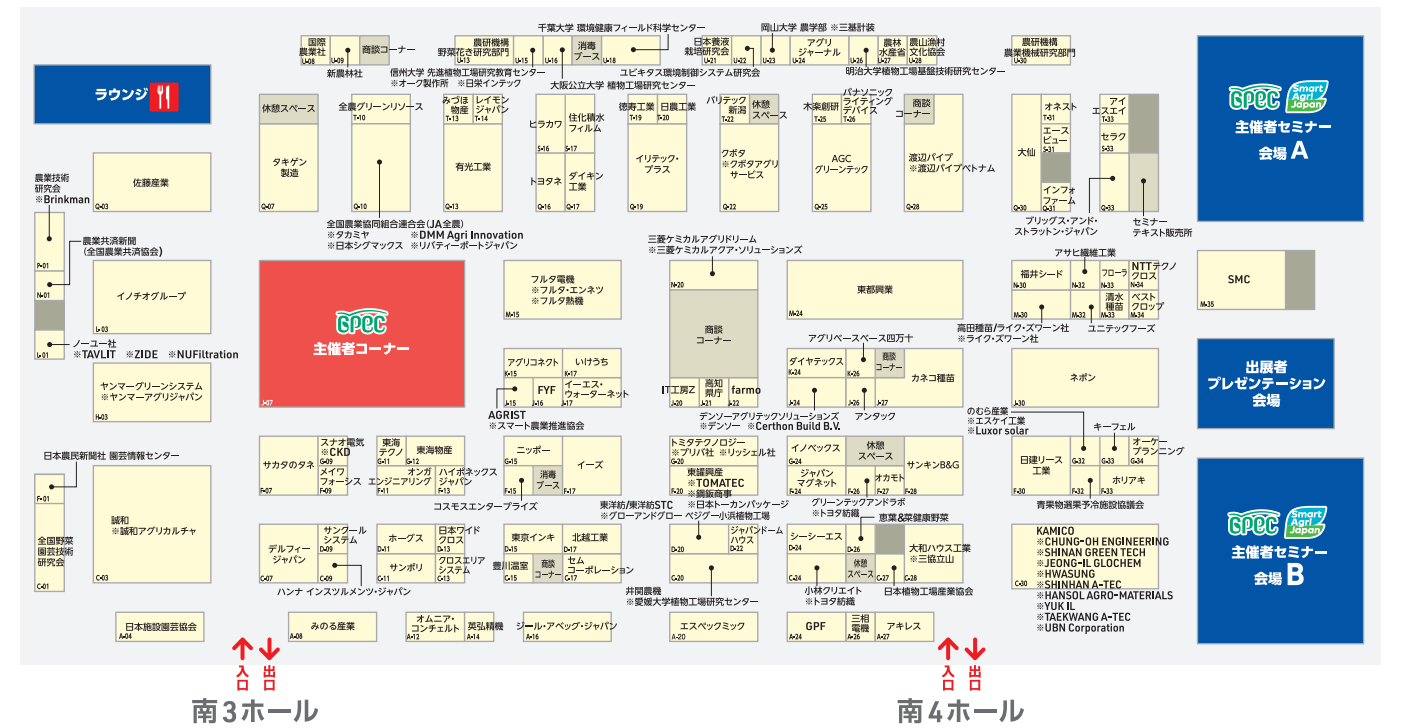


## 来場者アンケート



## 会場マップ

(社名は開催時点)



## 出展者一覧

(同時開催展・共同出展者含む)

- |   |   |   |  |  |  |   |  |  |
|---|---|---|--|--|--|---|--|--|
| あ アイエヌ アイ工房Z アキレス アグリコネット アグリジャーナル AGRIST ※スマート農業推進協会 アグリベース四万十 アサヒ繊維工業 有光工業 アンタック イーエス・ウォーターネット いけうち 井関農機 ※愛媛大学植物工場研究センター イノテックグループ イノベックス イリテック・プラス インフォファーム 英弘精機 AGCグリーンテック SMC エスベックミック NTTテクノクロス FYF オーケーブランニング 大阪公立大学植物工場研究センター オカモト 岡山大学 農学部 | か カネコ種苗 キーフェル 木楽創研 クボタ ※クボタアグリサービス グリーンテックアンドラポ ※トヨタ紡織 クロスエアシステム 高知県庁 国際農業社 ※コスモセンタープライズ 小林クリエイト ※トヨタ紡織 | さ サカタのタネ 英弘精機 サンキンB&G サンクルシステム サンボリ シーシーエス GPF ジール・アベック・ジャパン 清水種苗 ジャバドームハウス | ※三基計装 オネスト オムニア・コンチェルト オンガエンジニアリング カノコ種苗 キーフェル 木楽創研 クボタ ※クボタアグリサービス グリーンテックアンドラポ ※トヨタ紡織 クロスエアシステム 高知県庁 国際農業社 ※コスモセンタープライズ 小林クリエイト ※トヨタ紡織 | た ダイキン工業 大仙 ダイヤテックス 大和ハウス工業 ※三協立山 高田種苗/ライク・ズワーン社 ※ライク・ズワーン社 タキゲン製造 千葉大学 環境健康フィールド科学センター デルフィー・ジャパン | ジャパンマグネット 信州大学 先進植物工場研究教育センター ※オーク製作所 ※日栄インテック 新農林社 スナオ電気 ※CKD 住化積水フィルム 青果物選果予冷施設協議会 誠和 ※誠和アグリカルチャ セムコーロケーション セラク 全国農業協同組合連合会(JA全農) ※タカミヤ ※DMM Agri Innovation ※日本シグマックス ※リバーポート・ジャパン 全農グリーンリソース | デンソーアグリテックソリューションズ ※デンソー ※Certhon Build B.V. 東海テクノ 東海物産 東雄興産 ※TOMATEC ※日本カンパパッケージ 東京インキ 東都興業 東洋紡/東洋紡STC ※グローランドグローベッジ-小浜植物工場 シーシーエス ※プリバ社 ※リッシュ社 豊川温室 ※トヨタネ | 農業共済新聞(全国農業共済協会) 農研機構 農業機械研究部門 農研機構 野菜花き研究部門 農水産省 農林水産省 ノーユー社 ※TAVLIT ※ZIDE ※NUFiltration のむら産業 ※エスケイ工業 ※Luxor solar ハイボネックスジャパン パナソニックライティングデバイス パリテック新潟 ハンナインストルメンツ・ジャパン ヒラカワ farmo 福井シード プリックス・アンド・ストラットン・ジャパン フルタ電機 ※フルタ・エンテツ ※フルタ熱機 フローラ ベストクロップ ホークス 北越工業 ホリアキ | ま 三菱ケミカルアグリドリーム ※三菱ケミカルアグリソリューションズ みつぼ物産 みのる産業 明治大学 植物工場基盤技術研究センター メイワフォーシス ヤンマーグリーンシステム ※ヤンマーアグリジャパン ユニテック・フーズ コビキタ環境制御システム研究会 り レイモンジャパン わ 渡辺パイプ ※渡辺パイプベトナム 海外 エースビュー Korea Agricultural Machinery Industry Cooperative (KAMICO) ※CHUNG-OH ENGINEERING ※SHINAN GREEN TECH ※JEONG-IL GLOCHEM ※HWSUNG ※SHINHAN A-TEC ※HANSOL AGRO-MATERIALS ※YUK IL ※TAEKWANG A-TEC ※UBN Corporation |
|---|---|---|--|--|--|---|--|--|

## 出展者アンケート

